

週日の説教

金 大烈 神父 2010年4月30日(金)

《わたしを通る》

今日の第一朗読(使徒言行録 13・26 33)を讀んでいて目に留まったのは、『ピラト』という名でした。ピラトは、ローマの総督でしたね。そして、ユダヤを治めた人です。ピラトは、最初からイエス様を死刑にしようと思っていたわけではありませんでした。しかしユダヤ人の指導者たちが、「死刑にするように」と強く言いだしたので、彼らの言葉に負けて死刑の判決をくださったのですね。

日本語に「巻き込まれる」という言葉がありますね。皆様も今までの人生の中で、自分の意志とは全然関係ない状況に巻き込まれたことがあるでしょう。二つのうちどちらに従うべきか、判断がものすごく難しかったこともあったでしょう。そのような時、どうすればよいのでしょうか。これからも巻き込まれる可能性は十分にあると思います。その時、信者としてふさわしい態度は、どのような態度なのでしょう。力のあるものに従う態度でしょうか。比べてみて、自分に利益になるほうを選ぶのが正しいのでしょうか。身内の人と身内でない人がいる場合には、身内の人に従うのが正しいのでしょうか。“自分とは全く関係ない”と知らんぷりをするのがよいのでしょうか。皆様ならば、どうしますか。ピラトは結局、自分の損になるかならないかを考えて、力のある世論に負けてしまいましたね。皆様ならばどうしますか。こういうことは、神父の世界でもあることです。

そのような時には、先ず、「福音的なことは何であるか」を考えてください。自分の妻や夫が関わっている状況でも、「福音的なことは何であるか」を考えてください。そのように考えて判断する時、自分の身内を失う可能性もあります。しかし、福音的な選択は、私たちを一番望ましい道へ導く唯一の方法です。この世の中が滅茶苦茶になるのは、巻き込まれたときに自分の意志とは別に、力のあるところへ流されてしまう傾向が今でも続いているからです。

私は、自分自身のことも振り返ってみました。私はどちらに従ってきたのか、その時、どのような態度を見せてきたのか、卑屈な、卑怯なところもあったのではないかと。

皆様、これからそのような状況に巻き込まれた時には、イエス様のみ心を思い出し、何が福音的であるかを考えて判断なさってください。

さあ、今日の福音(ヨハネ 14・1 6)に入ってみましょう。

「主よ、どこへ行かれるのか、わたしたちには分かりません。どうして、その道を知ることができるでしょうか。」と使徒トマスが質問しますよね。するとイエス様は、「わたしは道であり、真理であり、命である。わたしを通らなければ、だれも父のもとに行くことができない。」とおっしゃいます。すごく哲学的な答えですよね。これはどういう意味でしょうか。アスファルトの道路のことでしょうか。それとも、生命保険のことでしょうか。「イエス様を知らない人は、天国に入れない」という意味でしょうか。「わたしを通る」とは、どういう意味なのでしょう。

イエス様の年齢を人間と同じように数えてみると、2000歳くらいになりますね。イエス様は、2000年前の人ですから。では、2000年より前の人はみんな悪い人だったのでしょうか。素晴らしい人はいなかったのでしょうか。いいえ、たくさんいたでしょう。では、イエス様より前に生れてこの世を去った人間は、素晴らしい生き方をしても地獄に落ちたのでしょうか。“イエス”という名も知らず、その教えも分からず、通ることもできなかったでしょう。その人々は、どうなったのでしょうか。今の時代でも、カトリック信者でなく、イエス様を信じていないいろいろな人々がいます。その人々は、どうなるのでしょうか。イエス様を知らない人々の中にも、きれいな生き方をする人はいます。その人々は天国に入れるのでしょうか、入れないのでしょうか。

さあ、「私を通る」というのは、「私のような生き方をする」ということです。では、「私のような生き方」とは何でしょうか。それは、『愛』です。『愛の生き方をする』ことです。愛の生き方ができれば、私たちは天国に入れます。逆に言えば、“イエス”という名を知っていても愛の実践ができなければ、イエス様を通らないことになってしまいます。毎日ミサを捧げていても心が硬くなってしまって、憎しみばかりで、人を敵にする生き方ばかりだったら、イエス様は赦そうと思ってもできないのです。「それならば、ミサに与るより世の中できれいな生き方をするほうがよいのではないか」と思われますよね。いいえ、とんでもないことです。皆様は、招かれているのです。逃げ場がないのです。招かれたからには、具体的にその教えに応じなければならないのです。ですから、ある意味では皆様は、幸せな方です。「招かれたけれど、面倒でこのような生き方はしたくない」などと子どもっぽいことは言わないでください。

ありがとうございました。